

## 分散登校実施

## 新しい学校生活様式を みんなで創りながら

5月の第2週に実施予定だった分散登校に向け、職員一同、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら準備を調べ、心待ちにしていたのですが、長野市で新規感染者の報告が相次ぎ、飯綱町をはじめ近隣の市町村にも拡大することが懸念されたため、直前になって実施を見合わせる事となってしまいました。急なご連絡にも関わらず、家庭学習の受け渡し等にもご対応いただき、心より御礼申し上げます。

楽しみにしていた登校ができなくなり、子どもたちもさぞがっかりしたことでしょう。学校職員も、時間をかけて準備をしては変更、また準備をしては中止…といったことを何度も繰り返し、本当に心が折れそうになる日々ですが、「子どもたちも我慢をしながら頑張っているのだから」と、気持ちを奮い立たせて取り組んでいます。保護者の皆様におかれましても、長期に渡る休業措置で、お仕事のやりくりや昼食の用意、家庭学習へのサポートや生活指導等、これまでにないご負担をおかけしていることと存じます。重ねて御礼申し上げます。

「また中止となるのではないかと心配していた18日の分散登校ですが、幸いなことに緊急事態宣言が解除され、また、長野市保健所管内において感染拡大の可能性が低いとの報告があったため、実施することができました。しかし、新型コロナウイルス感染症が完全に終息したわけではありません。専門家によると、2年、3年と闘いが長期化するとの見通しも示されています。政府の感染症対策専門家会議からは、「新しい生活様式の定着を」という提言がありましたが、学校でも【新しい学校生活様式】創りに取り組んでいかななくてはならないでしょう。

今回、分散登校を実施するにあたってのガイドラインを作成し、16日（土）に配信させていただきました。AID配信の都合上、「5 児童が身につける習慣」はお送りできませんでしたので、併せてご確認ください。

### 分散登校における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

#### 1 登校前に家庭で行っていただきたいこと

- 「健康チェック表」による健康観察を実施。チェック項目に該当する場合は、登校をしない〔出席停止扱い〕
- マスク着用、清潔なハンカチ・ティッシュの携帯を確認する
- 熱中症防止のため、水筒を持参する

#### 2 登下校中の留意点

- マスクを着用する
- 登校班は密着せず、手をつないだりしない
- バス内での密を避けるため、ピストン輸送により1台の人数を少なくする
- バスは常時窓を開け、換気する
- バス内では、会話を控える（しばらくの間、職員が同乗し指導する）

#### 3 学校生活環境

- 分散登校中の教室の児童数は、15名以内とする（学級を地区毎2グループに分ける）
- 座席の配置は、できるだけ間隔を空ける
- 換気扇、窓の開放により、常時空気の流れを作る
- 教室に手指消毒用ボトルを設置する



#### 4 職員が配慮すること

- ソーシャルディスタンスが分かる印を設ける
- 職員は水道で、入室前に児童が手洗いすることを確認する
- 学習活動中は、15分毎に換気をする。休み時間は窓を全開にして換気する
- 学習活動中は、子ども同士が長時間対面とならないよう配慮する
- 児童の体調に気を配り、体調の悪い児童については、速やかに地域交流室で待機させ、早退させる等の対応をする
- 定期的にドア、机、椅子等、児童が触れる機会の多い箇所を中心に消毒を行う
- 新型コロナウイルスへの過剰な反応や体調の悪い児童への好ましくない言動が起きないように指導を行う



#### 5 児童が身につける習慣

- 室内での生活は、マスクを着用する（屋外での活動においては、職員の指導により着用しない場合も認める）
- 教室入室前は、手洗い、うがいを行う
- ソーシャルディスタンスを守る
- 熱中症対策として、こまめに水分補給を行う



18日に登校した子どもたちは、先生方の指導を受け、このガイドラインに沿って行動するよう頑張りました。マスクの着用は、気温の上がってきた昨今、大人でも息苦しくなるもの。つい外してしまって注意を受ける。これまで友だちとは肩を組み、手をつないで仲良くしてきたのに、「距離を空けましょう」と言われてしまう。朝の会や音楽の時間、みんなで声を合わせ、心を合わせてきたのに、それも当分の間はお預け…。学校が再開できても、以前と同じようには生活できないことを、受け入れがたい子どもたくさんいることでしょう。けれども、今までは当たり前だった「友だちや先生と直接笑顔を交わし、言葉をかけ合い、共に学べること」は幸せなことなんだと感じることもできたと思います。その幸せを守るため、「面倒だな」「自分一人くらいいいや」と投げやりにならず、一人一人が本気で「どうすることで感染を防ぎ、学校生活を続けていくことができるのか」を考え、納得していくことが必要でしょう。自分のことばかりではなく、友だちや家族、そして地域の皆さんの健康や幸せも考えることができるようになる“思いやりの心”を育む機会です。物理的な距離はとりながらも、心は寄せ合い、みんなで新しい学校生活様式を創っていくことで、学校再開を目指していきたいと思います。

5月25日の週の分散登校や6月以降の登校のあり方については、文科省や県教委の指針を受け、感染の状況を見極めながら、町教育委員会や町内の小中学校と協議を行い、判断してまいります。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

## 自分の学びを充実させている子どもたち

「休業中だからこそできること」に、前向きにチャレンジしている子どもたちがたくさんいるようで、とても嬉しく思います。発見の喜びや達成感等々は、きっと将来につながる力となることでしょう。学級通信の中から、わずかですが紹介させていただきます。

今日、おふろそうじをしました。「昨日よりピカピカがいいね」とお父さんとお母さんにほめてもらえてよかったです。

今日は夕飯にサラダを作りました。いつもよりも時間をかけて作りました。「おいしい」と言ってもらえてうれしかったです。

今日は、300ピースのパズルをやりました。作っている時は大変だったけど、夢中で2時間やって終わったときは、達成感がすごく楽しかったです。

今日は前から大切にしていたカマキリの卵の3個目が産まれました。お昼に見てみたら産まれていたので、とてもびっくりしました。

日よう日のあざに、黄色のことりがいえのちかくでなっていました。しらべたらキセキレイというとりでした。いいなまえだと思いました。